



Japan East Region BULLETIN

2025/8/15 2025-2026 第1号通巻72号

国際会長 Edward Ong (エドワード・オン) 主題：信念、愛、行動
アジア太平洋地域会長 田上 正 (西日本区 熊本むさし)
主題：信念と愛を持って行動しよう！
東日本区理事 山下 真 (十勝) 主題：ワイズのらしさ 再発見

新しい年度が始まりました。

この区報の発刊目的は、役員の皆さまのご紹介とその方針を皆さまと共有することにあります。

素晴らしい人材に恵まれてました。その能力を活かすには皆さまのお支えが必要です。

是非、内容をご一読いただきまして我々に対するご指導とご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

一方、東日本区や国際境界、アジア太平洋地域の活動を経済的に支えるのは皆さまからの献金に他なりません。

まず冒頭に私たちの達成目標を掲載致しましたのは、「クラブライフの充実」「会員増強」という私たちの第一に位置づけた目標のために区費の値上げは見送りましたが、活動を止めるわけにはいかないからです。

是非、クラブの知恵と情熱をもって目標の達成にご協力を賜りますことを心よりお願いする次第です。

今年一年、楽しいクラブライフとなるかどうかは皆さん一人ひとりに掛かっています。

前向きに Move on

2025-2026 東日本区達成目標

担当	事業	達成目標
地 域 奉 仕 ・ YMCA サービス	CS(国際・地域社会奉仕(年賀切手・現金の献金))	1,500 円／人以上
	ASF (YMCA の研修や活動への支援 (国内 70%、国際 30%))	500 円／人以上
	FF (ファミリーファスト)	500 円／人以上
国際・交流	BF (ビルディング・ファスト)	1,000 円／人以上
	TOF (タイム・オブ・ファスト)	1,000 円／人以上
	EF (エンダウメント・ファンド)	記念募金
	RBM (ロール・バック・マラリア)	700 円／人以上
	YES (新クラブ設立支援基金)	500 円／人以上
	IBC (国際兄弟クラブ)	締結奨励
	DBC (国内兄弟クラブ)	締結奨励
会 員 増 強 (EMC)	新クラブ設立	2 クラブ設立
	会員増加数	100 名入会、60 名増加
ユース	ユース活動支援	1,000 円／人以上
	ユースクラブ設立	検討開始
	YVLF (ユースボランティア・リーダーズフォーラム)	1,500 円／人 (負担金)
東日本区ワイズ 基金	JEF	1,000,000 円以上
LT	部長・事業主任研修／次期会長・部役員研修	各 1 回開催
	各部における部内研修	各部開催



謙虚なサーバント・リーダー 協力的な行動を通じて変革を促す

ワイズメンズクラブ国際協会
2025-2026年度国際会長
エドワード・K・W・ONG

2025-2026 YMIワールドから転載

親愛なる世界中の YMI リーダー、クラブメンバー、友人の皆さま

2025年7月1日付でワイズメンズクラブ国際協会の国際会長に就任いたしましたことを光栄に思います。会員の皆さま、指導者の皆さまが私に寄せてくださった信頼と信用に心から感謝申し上げます。模範的なリーダーシップでわれわれの運動を大きく前進させてきた A・シャナヴァスカーン直前国際会長の後を引き継ぎました。

今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。共に謙虚なサーバント・リーダーシップを通じて、あらゆるレベルで意義ある変革を促し、来るべき年に私たちの組織をさらに向上させるために努力していきましょう。

私のスローガン: 信念、愛、行動

私の主題: 共に、より強く

私のビジョン: 熱望し、鼓舞し、変革する運動

リーダーシップの再考

リーダーシップというと、しばしば権力や権威、個人の業績が連想されます。しかし、最も影響力のあるリーダーは、謙虚なサーバントという別の原型を体現していることが多いです。これは、自己を卑下することではなく、卓越性を追求しながらも、個人の野心よりもチームや組織のニーズを優先し、他人を動かして目覚ましい成果を上げることの意味します。

サーバント・リーダーシップの核心

謙虚なサーバント・リーダーは、真のリーダーシップとは支配力を発揮することではなく、他者に力を与えることだと理解しています。彼らのスタイルは、謙虚さ、奉仕への熱望、協力的な環境づくりへの深いコミットメントによって定義されます。彼らは命令することによってではなく、導き、鼓舞することによって指導します。彼らの目標は、個人的な評価ではなく、チームの集団的な成功と組織全体の成長です。

このリーダーシップのスタイルは、受動的なものではありません。謙虚なサーバント・リーダーは、野心的な目標を設定し、自分自身とチームに高い基準を課します。一人ひとりの可能性を信じ、それを開花させるために熱心に取り組みます。チームメンバーが成長するために必要なリソース、励まし、指導を提供します。勝利を祝い、挫折から学び、継続的な改善に焦点をあてます。

信頼と協力の文化を築く

サーバント・リーダーシップの真の強みは、インスピレーションを与える能力にあります。このようなリーダーは、信頼、相互尊重、オープンなコミュニケーションに根ざした文化を育みます。彼らは、チームの意見に積極的に耳を傾け、多様な視点を尊重し、貢献を認め、目的意識と所有権を共有します。このような協力的なアプローチは、組織の結束力を高め、より効果的に課題に立ち向かい、より大きなインパクトをもたらすことを可能にします。

変革の成果

謙虚なサーバント・リーダーが率いる組織は、深い変革を経験します。そのようなチームは、通常、より積極的で、生産性が高く、革新的です。チームの士気や仕事に対する満足度も高まります。その結果、組織は、より効率的になり、コミュニケーションが活発になり、目的に向かって一致団結するようになります。波及効果は、組織の枠を超え、より広範なコミュニティやその利害関係者にもポジティブな影響を与えます。

サーバント・リーダーシップの実践

最もパワフルなリーダーとは、必ずしも大胆な個性や、孤高の革新者、あるいは、威厳ある先見者ではありません。多くの場合、彼らは、奉仕を通して静かに、謙虚に導く人たちです。これは、決して弱さではなく、サーバント・リーダーシップの模範となったイエス・キリストの生涯と教えに代表されるように、変革のためのダイナミックな力なのです。

権力をため込まず、分かち合うリーダー、尊敬を要求せず、奉仕を通じて尊敬を得るリーダー、ビジョンを押し付けず、チームと共同して創造するリーダーを想像してみてください。それこそがサーバント・リーダーシップの真髄であり、自分を卑下するのではなく、他者の可能性を広げることなのです。

そのようなリーダーは野心的な目標を恐れず、力を与えられ、やる気のあるチームが並外れたことを成し遂げられると信じています。彼らは、マイクロマネジメントを避け、代わりにツールやサポート、ガイダンスを提供し、そして他人が輝くために身を引くことを選びます。

アジア太平洋地域会長

田上 正（熊本むさしクラブ）

主 題： Act now with faith and love!

信念と愛を持って行動しよう！

スローガン： Contribute to local society together with YMCA and Youth!

YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！

第 31 回アジア太平洋地域大会の御礼



今後、アジア太平洋地域の活動については山下 真理事を通じて東日本区の皆さまにはなにとぞ強力なご支援ご協力を賜りたいと考えております。

今回の機会を利用させていただき第 31 回アジア太平洋地域大会ホストコミッティー委員会委員長として御礼を申し上げます。

8 月 1 日 1 から 3 日にかけて熊本城ホールにて開催された第 31 回アジア太平洋地域大会（AC2025）は、無事に終了することができました。暑い中、東日本各地からご参加くださいました皆さま、貴重な時間とお金を費やしていただきましたことに心から感謝いたします。

8 月初めの大会開催ですので、台風の襲来やこの時期に生じる豪雨には心配いたしましたでしたが、大会期間中、快晴であったことは神様の大きな力が働いたものと信じています。

大会が間近に迫った 6 月中旬の国内登録者数 220 名という危機的状況から、必死の参加呼びかけに応えていただいた結果、国内 419 名、国外から 137 名計 556 名に達しました。当日急遽登録された方も若干名おられたようです。山田公平直前理事、山下真理事には参加呼びかけにご協力いただきありがとうございました。

元アジア太平洋地域会長の利根川恵子ワイズ、田中博之ワイズには物心に渡る大きな支援をいただき感謝申し上げます。

AYC への参加者やお手伝いいただいた熊本 YMCA 伊藤眞太郎総主事始め熊本 YMCA スタッフ、熊本 YMCA 学院の学生さんを合わせると、約 700 名が AC2025 に参集して大会を作り一体となって大会運営に大きく関わっていただきました。

熊本 YMCA 学院の学生さんから、参加者からねぎらいの言葉をかけてもらった、一緒に写真を撮ってもらい嬉しかったとの報告がありました。ご参加の方々から熊本 YMCA に多くの称賛をいただき『共同』の素晴らしさを感じた 3 日間でした。

数多くのご寄付と協賛広告を出してくださった方々、大会前から様々な準備に当たってくださった委員、当日受付や大会記念 T シャツ企画販売などに関わってくださったメンバー、メネット、関係者、本当にありがとうございました。2 年間かけて皆で練り上げてきた其々のプログラムは、皆さまの心にきっと届いてくれたものと信じています。

大会期間中いろいろなことが生じました。入場行進順番担当の突然の変更、大野嘉宏ワイズ基調講演時の「ビエンチャン YMCA ホテル専門学校開校へ壁」というショッキングな発表、エクスカーシ

ョン3での転倒受傷事案、AYC 報告が最後まで出来なかったこと、晩餐会でのステージ進行や閉会式でのバナー退場がスムーズにできなかったこと、2日目の夜の交通規制など、細かいことを言えばもっとありました。しかし、司会者の機転や会場運営委員会の対応、マーシャル委員会の活躍などで何とか乗り切ることが出来ました。殊に7月30日から熊本 YMCA 阿蘇キャンプ場で開催された AYC では Peace をテーマに話し合いと親睦・交流が持たれました。大会最終日に発表の機会がありましたが、十分な発表の時間が取れなかったことは反省材料であり、今後の課題としています。

ホテル日航熊本で準備された食事は、今迄で一番良かったとお褒めの言葉をいただきました。2日目晩餐会で、皆さんが笑顔で一体となり会場内を踊られる「サンバおてもやん」総踊りでは、極上の喜びがこみ上げてきました。

AC2025 は大きな感動としてどなたの記憶にも残ったと私たちは信じています。AC2025 を支え、ご参加くださいました皆さまに、心からの感謝を申し上げます。



西日本区理事

中井 信一（奈良クラブ）

主 題： Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!
世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!
スローガン Stay with you. Never forget you.
あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

YYY ライフを楽しみましょう!!

西日本区を代表致しまして、ご挨拶申し上げます。



2度の西日本区国際・交流事業主任やアジア太平洋地域の事業主任を担当させて頂きました際には、皆さまとも一緒に活動が出来、お世話になりました。又、DBCの御殿場クラブの皆様とも楽しく交流させて頂いています。

今期の小生のスローガンは、『あなたに寄り添う。あなたを忘れない。』と致しました。東北大震災の発生後の夏休みに協働しています、

奈良 YMCA の総主事やユースリーダーの皆さんとお手伝いに参りました。

その後、数年間お手伝いに伺い、少し落ち着いた頃に当時の仙台 YMCA の M 総主事様から頂いた大切な言葉をスローガンと致しました。

来年の東日本区大会で久しぶりに石巻や東北を訪問し、皆様とお会い出来るのを楽しみにしています。山下理事やキャビネットの皆様とは、2ヶ月に1度は ZOOM にて情報交換を行って参ります。

東日本区の活動からもヒントを頂き、我々の活動に活かして参ります。1年間、どうぞ宜しくお付き合いの程、お願い申し上げます。

“倭は国の真秀ろば 豊なづく 青垣山籠れる 倭し美し” 古事記に出て参ります歌ですが、来年6月には奈良で皆様をお待ちしています。

最後に主題は、『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』と致しました。さあ、一緒に YYY 楽しみましょう。

Let's enjoy

ワイズメンズクラブ国際協会
第29回 西日本区大会

2026年 6月13日 土 なら100年会館
6月12日 金 前夜祭 ホテル日航奈良
KOTOWA奈良公園 Premium View

ホストクラブ:奈良クラブ
サブホスト:和歌山クラブ、大阪サウスクラブ、大阪河内クラブ、
大阪長野クラブ、大阪泉北クラブ、和歌山紀の川クラブ

日本 YMCA 同盟総主事

田口 努

ワイズと YMCA のパートナーシップで ユースエンパワメントのさらなる推進を



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の各部・クラブ・メンバー・メネットの皆様には、日頃より全国の都市 YMCA ならびに学生 YMCA の活動をお支えいただきますこと、心より感謝申し上げます。

2 025-26 年度、山田理事から山下理事にバトンが渡され、『ワイズのらしさ再発見』の主題のもと新たな歩みをスタートされましたことに敬意を表します。日本も世界も激動に直面している今このときに、東日本区の各クラブが「ワイズのらしさ」を大いに発揮され、地域および世界を舞台にした奉仕活動をますます盛んに展開されますことを心より期待申し上げます。

日本の YMCA は、世界 YMCA 共通の行動計画であり、SDGs とも連動したアクションプランである「世界 YMCA Vision2030」の推進を目標に掲げ、世界の仲間と連帯し、多様な社会課題の解決のための働きに取り組んでいます。YMCA とワイズメンズクラブが協働して進めてきた全国規模のプロジェクトである、Y's×SDGs

Youth Action も、ユースグループによる社会課題解決への取り組みを応援し、伴走支援するものです。2024 年度のユースグループの活躍は目覚ましく、各地域のワイズメンズクラブによるご支援に重ねて感謝申し上げます。

今期は活動の無い年度にあたりますが、引き続き YMCA と共に、ユースエンパワメントの推進のためにご協力いただき、ユース世代の成長を願いつつ、社会を変えるためのサポートをいただけますと幸いです。

今年は戦後 80 年、また原爆投下 80 年にあたる年です。世界各地での戦火が止まず、国内外で様々な分断や格差の拡大が懸念されていますが、YMCA は世界平和実現のために引き続き努力いたします。そして、互いを認め合い、高めあうことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながる「ポジティブネット」のある豊かな社会を目指し、ユースもシニアも活動を通して「みつかる。つながる。よくなっていく。」よう力を尽くします。

最後に、主の導きと豊かな祝福によって、東日本区の皆様の健康が守られ、よき働きが進められますようお祈りし、感謝をもって、ご挨拶とさせていただきます。更なるパートナーシップの深化を目指して、今期も引き続きよろしくお願い申し上げます。

東日本区理事

山下 真（十勝クラブ）

主 題： Rediscover the essence of Y'sdom
ワイズのらしさ 再発見
スローガン：Change！

あなただけのワイズらしさ あなたのクラブだけの求めるべき姿

交流はワイズの醍醐味

ワイズにおいて、交流は大切な要素です。

既に各地でおこなわれている合同例会などクラブ・部・区を超えて、更に国境を越えて友好を深め楽しんでいきましょう。

まずアジア太平洋地域大会熊本大会があなたの参加を待っています。



分析から行動へ

チームイノベーションの最終答申や法人検討委員会の検討に多くの時間を割いてきましたが、それを受けて具体的な変革に向けて行動を起こす時が来ました。

5年間で想定した中期行動計画を次期理事スタッフでは検討してきました。その柱は以下の通りです。

- ① 公益法人化の実現に向けた検討を進める。
- ② ファンドレイジング、プロボノの啓発、プラットフォームづくり
- ③ 公的資金・補助金授受などの資金作り

この中期行動計画の正式名称やそれに関わる標語は公募します。

「カレンダープロジェクト」「ワイズ名刺」はこの変化を象徴する取り組みです。

会員増強

仲間を誘うことは直ぐに結果を得ることが難しく時として心折れるものですが、そうであっても我々がやろうとする活動にはそれを実現できる大きさ、メンバーの数が必要です。

楽しいワイズメンズクラブを実現するために会員増強に向けて奮起しましょう。

福島にワイズメンズクラブと YMCA 運動を

福島には報道されることのない不安が震災 15 年を迎える今もあります。私たちは子供たちとその家族に寄り添い「福島にワイズメンズクラブを 福島に YMCA 運動を」の願いに応え第 29 回東日本区大会石巻大会の準備と並行してその実現に向けて全力で取り組みます。

最後に

クラブはワイズの最小単位です。そこが生き生きと活動していることを願います。

必ず道は開けることを信じ楽しく楽観的に課題に立ち向かっていきましょう。

東日本区直前理事

山田公平（宇都宮クラブ）

2025－26年度 東日本区直前理事 方針

新年度の方針では、これまでのユースエンパワメントの継続を図りたい。そのためユースと国際・交流の二つの事業委員会を通してユースエンパワメントのさらなる実現を図ることになる。具体的な事業目標は、以下の6項目とする。



1. 不登校児への対応：2024年秋から始めた TOF 助成金を2027年12月までの3か年に、東日本区内の YMCA と連携して、不登校児への支援プロジェクトを生み出したい。現段階では、とちぎ YMCA で行う新たな体験提供。山梨 YMCA 不登校児フリースクールがある。さらに、東京 YMCA 高等学院は通信制の高校で、学生の中には不登校経験者も多くいる。新たな体験と関心分野への取り組みなど提供したい。この事業は、各地で行うプロジェクトへの評価や可能性をチームを設けて、取り組む必要がある。国際協会との窓口は山田直前理事が持ち、国内での取り組みと評価は不登校事業チームを組織して行う。チームメンバーには、山田（とちぎ）をはじめ、山梨、東京などの現場の代表と、区事務局、国際・交流事業委員会、ユース事業委員会の代表等が当たる予定。
2. 国際ワークキャンプ実施：2025－26年度中に国際・交流事業委員会を中心に国際ワークキャンプを実行したい。当面は、ネパールで2026年3月に7－10日間のワークキャンプを検討中。委員には、為我井（BF 代表でネパール滞在）と国際・交流事業委員やユース事業委員が入り、連携を図りたい。
3. AYC（Area Youth Convocation）を2025年7月30日－8月3日の4泊5日、熊本 YMCA キャンプ場で実施予定。東日本区から12名を選考し、送り出す予定。東日本区の多くの YMCA、ワイズクラブから推薦を受け付ける。この経験をもとに、国際ワークキャンプやユースアクションにもつながるような仕組みを生み出したい。
4. YVLF（Youth Volunteer Leaders' Forum）は、2025年9月5－7日に横浜 YMCA 富士山エコビレッジで行われる。今年度は環境問題に関心を持ち、何か地元で活動を起こせることを期待したい。それがユースアクションにもつながることを期待したい。
5. 第3回目になるユースアクションを2026年4月から2027年1月までの期間行う予定である。YVLF で環境をテーマに学びを深め、また、熊本で行う AYC の参加者にもユースアクションにつながる活動展開を期待したい。
6. ファンドレイジングは、ユースエンパワメントの具体的な計画に対して、助成財団申請、ワイズ東日本区献金などへの協力をアピールして進める予定。

事業主任 方針

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

深澤 勇弘（熱海クラブ）

アピール！アピール！アピール！



山下年度の地域奉仕・Yサ事業主任を仰せつかりました、熱海クラブ所属の深澤勇弘です。

2年間宜しくお願い致します。

私のこの2年での目標は、対外的にワイズメンズクラブのアピールをし、知名度をあげることです。地域奉仕活動は知名度を上げる絶好の場と考えます。

主題を「人のために働き、自分のために楽しむ」と、ボランティアの基本を掲げました。辛く、大変なボランティアをするのではなく、メンバーが楽しみながらできる地域奉仕を企画し、ワイズメンズクラブの、のぼりを掲げ、楽しそうに活動する事によって、その地域の方々にも興味を持ってもらえるような団体だと思われることが、会員増強にも繋がり、ワイズメンズクラブの絶好のアピールになると考えます。

皆さん、ワイズメンズクラブをアピールしまくりましょう！

会員増強事業主任

大澤 和子（所沢クラブ）

Only One（大切な人をたった一人）



会員増強は結果です。あなたの一番大切な人とあなたの有意義で楽しいワイズ生活を共有することをお勧めしたい。

自クラブ、他クラブの例会や、部や区の大会、YMCA のイベントに大切な人をたった一人でもいいからお誘いしてください。

美味しいものは1人で食べるより、大切な人と一緒に食べたほうがおいしいでしょう。食べ物に例えるとワイズ活動が、おいしいと思えるかそれが大前提ですから、ワイズ活動を楽しみ若者の成長と一緒に喜び合いたいです。

あなたが楽しみ、あなたの大切な人も楽しめたらワイズの会員はあっという間に増えるはずです。オンリーワンをお誘いください。

国際・交流事業主任 山本 剛史郎(川越クラブ)

若者に異なる世界を見せたい！



2025-26 年度、国際・交流事業主任を務めます山本剛史郎です。

国際・交流事業の方針は「若者に異なる世界を見せたい！」です。

若者たちが視野を広げ、世界に目を向けることは、多様な価値観や文化を理解する力を育みます。異なる背景を持つ世界の人々との交流を通じて、柔軟な思考や共感性が養われ、国際社会で活躍するための基盤となります。そのためにも海外におけるワークキャンプを実現させて、体験させたいと思います。

私自身も 1994 年に埼玉 YMCA のフィリピン・ワークキャンプに参加し、それがきっかけに YMCA、ワイズメン

ズクラブにつながるようになりました。

このワークキャンプを通してワイズメンズクラブの認知度が高まり、奉仕団体としての存在意義が再確認できるきっかけになれば良いと思います。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

ユース事業主任 並木 真(東京八王子クラブ)

ユースの力をワイズの力に！



①AYC 7月30日～8月3日熊本 YMCA のキャンプ場

「YMCA 阿蘇キャンプ」へのユース派遣

②YVLF 9月5日～7日富士山 YMCA グローバルエコビレッジ

③ユースアクション準備、募集

以上が例年の動きであり、それに加えて国際・交流とのワークキャンプ実施に向けての動き、TOF「こどもの居場所」事業への取り組みなど、他の事業委員会と共に話し合いを重ねる機会が増えます。

今年の YVLF のテーマは「環境」です。

ワイズの私たちも「環境」について何が出来るかディスカッションします。ぜひご参加下さい！

そして、各地域でユースと共に活動を始めて下さい。ユースにとっても「ワイズ」の存在がぐっと身近になるはずです。

これからの社会をつくる「ユース」に経験の場をつくりましょう。ユース献金のご協力をよろしくお願いします！

部長 方針

北海道部部長 柴田 伸俊（札幌クラブ）

1.部長主題

Well Being なワイズライフを
「 健康で楽しいワイズライフを 」

2.課題と目標

1) YMCA との協働を強化

YMCA サポートというワイズ活動の原点を今一度見直し、
地域の YMCA と協働し基盤強化を図る。

2) 北海道部の財政基盤

圧縮した北海道部の予算案作成

3) 楽しむワイズ計画 2025-26

クラブ間の交流を重視した活動を実施



<実践計画>

- ・ 2025 年 8 月 11 日～12 日
一泊二日のワイズキャンプ（OB 会と共に）
- ・ 2025 年 9 月 20 日（土）十勝いも掘り
- ・ 2026 年 1 月 17 日（土）3 クラブ合同新年会
- ・ 2026 年 2 月 14 日～15 日ワイズスキー＋温泉
- ・ 2026 年 5 月 16 日（土）十勝山菜例会
- ・ 2026 年 6 月 13～14 日チミケップワイズワーク

<評議会年間日程>

- | | |
|--------------------|---------------|
| 2025 年 8 月 23 日（土） | 第一回評議会（Zoom） |
| 2026 年 4 月 28 日（土） | 第二回評議会（十勝クラブ） |
| 2026 年 6 月 27 日（土） | 第三回評議会（Zoom） |

北東部部長 三田 庸平（もりおかクラブ）

ユースと共に明るい未来を

新年度、北東部長を務めさせていただきます、もりおかワイズメンズクラブの三田庸平と申します。

今年度の北東部部長方針は表題の通り、ユースと共に明るい未来をと題して土台作りをしていきたいと思っています。

活動計画は各地のワイズ、YMCA とユースが交流を行い、ワイズの認知をしていきたいと思っています。その為にも、多くの意見に耳を傾け、発信をしてユースが多く集うワイズを作っていけるようにしていきたいと思っています。

以上の活動計画のもと、力を入れていきたい内容としてはYMCA・ユース向けのワイズって何って題して、くだけた感じでワイズを知ってもらう為のウェブや冊子を作成する事。

また、交流としては北東部会改め、北東部フォーラムとしてY M C A・ユース・ワイズの交流会を開催する事。

2点に重点を置いて、土台作りをしていきます。

その為の実行委員会や評議会を開催し、多くの皆さんと議論をしてワイズ活動の発展に向けて活動していきたいと思っています。

多くのワイズのお力があるからこそ出来る活動内容となっております。是非、未熟な私のサポートをしていただき、ワイズの明るい未来を作ってもらいたいと思っています。

新たなY M C Aの誕生に向けて話が進んでいる福島の地で北東部フォーラムを開催し、北東部として全力でサポートしていきたいと思っています。

多くの皆さんが北東部フォーラムにご参加頂き、北東部の明るいユースの皆さんと交流して頂けるように周知していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。



山下東日本区理事と共に北東部長としてアピールしていきたいと思っています。
思いをたくさん書きましたが、実現していきますので、北東部をよろしくお願い致します。

関東東部部長 鈴木 雅博(東京江東クラブ)

バタフライエフェクト 変革の風を

昨今のクラブの減少、そしてメンバーの激減。このままではワイズメンズクラブ自体がなくなってしまうのではないかという危機感を持っています。

コロナ禍以降の経済格差、物価高、食糧問題の波が押し寄せる日々でこの先も変貌の激しい時代に沿い、ワイズメンズクラブとしてどのような活動をしてゆくべきか。

一人で考えても変革は起きません。世代間のギャップを超えた考えの幅をもち、互いの個を認め、広い視野をもってともに向上・発展をしていくクラブにするため、より若い世代のメンバーのパワー・行動力が必要だといっても過言ではありません。

若いパワーあるリーダーを育成し、若者にとって魅力あるクラブとなるような活動を展開していきたいと考えています。

若者がいつも集まるような活動、未来ある子供たちに何を学ばせどんな経験を積ませられるのか？子供たち自身にも考えさせ、国内だけでなく海外を視野に入れ、今後の日本をそして世界を見る目を養い、行動できていくような活動をするプランを経験者である現メンバーと行動力の新メンバーとともに構築していきたいと考えています。

一人一人の力は微々たるものでも、小さいことの積み重ねで結束を強固なものとし、変革の波を起こせるクラブでありたいと強く願っております。



「考えること」を止めないで進もう！
棚卸と原点回帰。評価から展望へ。

1. 活動方針

在京12クラブとの連携を深め、東新部の進むべき道を「ワイズの進むべき道」と読み替え、先人の足跡から新たな学びを導き出します。



2. 活動計画

- ①「会長会」今年度も継続します。(4年目に突入)
- ②「主査の働き」を明確にし、チーム制をとります。
CS・Yサ&会員増強チーム：相互協力が可能な事業を精査し対話の機会を設けます。
ユース&国際・交流チーム：多文化共生について、事業化に向けて情報共有に努めます。
- ③「Y友広場」「開かれた広場」を目指し、告知の工夫をして 出会いの場を増やします。
- ④「プロボノリスト」へ全員参加。活用を始めます。
- ⑤東京YMCAと「語り合う場」を求めます。
- ⑥東京YMCAから学び、災害時への協力体制と、組織化を目指します。(災害の関東地区発生を想定)
- ⑦ユースアクションを機に繋がった「若い世代による社会課題の解決」を支えます。
対 象 認定NPO法人メタノイアおよび東京YMCA
- ⑧部大会は実行委員会形式で開催し、内容も開かれた場とします
(←一般への告知、集客。他部との連携)
- ⑨「終活セミナー」を開催。連続講座を目指します
- ⑩全クラブの周年事業を共に喜びます。
(=東京95周年、むかで65周年、コスモス30周年、多摩スマイル10周年プレ開催)。
- ⑪新入会員獲得を目指し、受入体制の整備と「ワイズ理解」の内容・マニュアル(?)を再検討。

3. 仮) 部行事予定←東京YMCA行事との日程調整を行います

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 2025 7/19 (土) 第1回評議会 | 東京YMCA 東陽町センター |
| 2025 11/22 (土) 第2回評議会 | Zoom |
| 2026 4/25 (土) 第3回評議会&次期役員研修会 | 東京YMCA 東陽町センター |
| 2026 5/23 (土) 事業・運営中間引継会 | |
| 2026 5.6月頃 チャリティコンサート | 従来の部大会を改め、地域奉仕事業として計画中。 |

4. その他の計画・特記事項

事務処理等の簡素化を継続。

あずさ部部长 山口 直樹(東京武蔵野多摩クラブ)

垣根を低くし、活発な活動を

各クラブの活動の活性化をサポートすることを大きな目標とする。部キャビネットの負担を軽くし、部としての力を各クラブの活性化のために注いでいきたい。

また、メンバーの交流を部内はもちろん部も超える形でも活性化していきたい。そのために下記の方策を実施していく。

- 各クラブとの連携強化
- 各クラブの行事への部としてのかかわりを深める(C S活動の活性化)
- 会長会をズームで開催(年 4~6 回くらい)し、クラブ間の情報共有と交流の活発化を図る。
- 部大会を「あずさの集い」として複数回実施
- 評議会を年 2 回実施とする (あずさの集いも同時開催)
- 部報の簡素化(原則メール配信とする)
- 部事務局作業の簡素化
- 区キャビネットとの連携をしっかりと図る。



かながわ部部长 兵藤 芳朗(鎌倉クラブ)

かながわ部のキーワードは「絆」

2025-26 年度「かながわ部」部長の兵藤芳朗です。

所属は鎌倉クラブです。ワイズ歴は 20 年程度ですが、これまでクラブ内を中心に活動してき

たので、この度の部長就任に戸惑っているのが正直なところでは

旧年度は次期部長として、久保部長に部長としての心構えなどを教えていただきながらの 1 年でした。右も左もワイズのことが分からなかった私でしたが、次期部長としての助走期間を通じて、部他クラブの会長さんはじめ、役員の皆さんとの出会いによって、ワイズのことが徐々にですが分かってきました。

皆さん、思いやりと優しさに溢れ、ワイズへの思いが深く、自分が知らないいろいろなことを学ぶことができ、感謝しています。



さて、いよいよ「かながわ部」部長としての活動が始まります。今年度は、これまでの湘南・沖縄部から「かながわ部」に部名が変わったスタートの年になります。

せっかく部名を変更したので、これを契機として、クラブの垣根を超えた活動をより推進し、各クラブが共に歩みながらこれまで以上に交流を深め、部の「絆」を大切に、強めていきたいと考えています。

かながわ部では、「会員増強など各クラブの悩みや課題は、部の悩み・課題」として捉え、共有してまいります。

25・26年度は、各クラブの事業に「かながわ部」の冠を付けて、クラブ全体で事業を盛り上げ、事業を通じて結びつきを強めたいと考えています。

既に夏に予定されている事業や部での宿泊の例会交流会も話題に上っています。

また 2025・26年度は、横浜 YMCA が主管で 9 月に YVLF(ユースボランティア・リーダーズフォーラム)が富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジで開催されます。

8 月には、第 32 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜が開かれます。

かながわ部を挙げて取り組んでまいりたいと思います。

かながわ部部長としての役割を果たすとともに、東日本区活動に役立てるよう努めてまいります。

富士山部部長 勝又 隆吉 (熱海グロリークラブ)

参加して生き生き学ぶ我が奉仕

まずは参加しよう。

どんなクラブでも目的と楽しさがなければ発展はありません。

自らがいろんな奉仕活動に積極的に参加し、感動を求め感動を味わう。そこに新しい出会いが出来ると同時に、ワイズの良さが広がっていきます。

顔さえ出せばと云う問題ではありません。とに角その場に溶け込むことが大切ではないでしょうか。クラブの組織がしっかりしていれば万全です。

目 的

- 部長は積極的に他のクラブを訪問して交流を深める。
- 仲間を大事にする。
- 意識を持って活動する。
- YMCA と青少年健全育成に協力。

お互いに元気で頑張りましょう。



各委員長 その他役職方針

LT 委員長 山口 直樹 (東京武蔵野多摩クラブ)

理事の方針に基づき、現状の問題点を広く認識し、今後に向けての具体的な認識を東日本区の主任・部長・会長などのメンバーと共有するために 2 回の研修会(部長・主任研修会、次期会長部役員研修会)を実施する。

昨年度、新しい形での二つの研修会を実施した経験を踏まえ、研修会の在り方も検討していく。従来の教え込む研修ではなく、現在のワイズの現状の認識を共有し、地域の違いや特性も考慮しながら今後のワイズ活動の在り方をともに創造していく機会としていきたい。



JEF 委員長 渡辺 喜代美(十勝クラブ)

愛する未来東日本区創造にご協力を！

変革の時代を迎えた東日本区ワイズメンズクラブです。今こそ皆さんのお力添えが必要です。

東日本区を支えてきたワイズ基金。「アタミ基金」から「日本ワイズ基金」へ、そして「東日本区ワイズ基金」となった歴史は、今年で 50 年を迎えます。

ワイズの皆さんの感謝が献金として積み立てられ、時代に併せて必要とされる事業を支えてきました。

世界が不安定な時代ではありますが、ワイズの平和を願う思いをワイズ基金へ寄せていただければ幸いです。

東日本区の未来をつなぐためにも、皆さんの献金が大きな役割を果たすと考えます。ひとりひとりのワイズメンズクラブへの思いが形となって、新たな時代を創造し、地域を発展させていくためにお力添え宜しくお願いします。



ワイズメネット委員長 利根川 恵子(川越クラブ)

ワイズメネットのネットワーク化を目指して

伝統的に、ワイズメンの妻はワイズメネットと呼ばれ、地域のワイズメンズクラブの補助組織としてワイズメネットクラブを作り、活動してきました。

最近では、「ワイズメネットマニュアル」が改訂され、ワイズメネットクラブは、ワイズメンズクラブの補助的な存在ではなく、地域のワイズメンズクラブや YMCA、コミュニティをサポートする独自のプログラムを実施する団体として位置づけられています。また、正式にワイズメネットクラブとして認められるためには、ワイズメンズクラブと同じように、国際事務局に登録をして、国際会費（年会費：一人 2 スイスフラン）を納入するということになっています。さらに、メンバーはこの会の趣旨に賛同する女性であれば、どなたでも入会することができます。

東日本区では、ワイズメネットは、今までワイズメンズクラブや部単位等で独自の奉仕活動や親睦・交流を行ってきており、ゆるいネットワークで結ばれてきました。

そこで今年度は、各部のワイズメネット主査（あるいはそれに代わる担当者）と直前ワイズメネット委員長、現委員長が指名する委員を加えて「ワイズメネット事業委員会」を組織し、ミーティングを定期的で開催して、事業の計画、実施、評価を行うようにいたします。つまり、ワイズメネットをネットワーク化し、事業を組織化していくということです。



ワイズメネットをネットワーク化する意義は、相互の親睦・交流が図れることはもちろんですが、区一体となって事業を推進することにより、より大きな成果が期待できることです。

そこで、事業を動かす軸となる「ワイズメネット事業委員会」ですが、年3回程度の開催を予定します。第1回委員会を7月中に開催し、今まで実施してきた YMCA 関連施設への絵本の贈呈や国際ワイズメネット選出の TOF 事業 (Time of Fast:) への献金なども含めて、具体的な事業計画を決定してまいります。

ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ヒストリアン 仙洞田 安宏(甲府やまなみクラブ)

転換期を良い機会に

2年間の山田公平理事の後を受けて、これからの2年間、山下真理事が東日本区の舵を取ります。このようなケースは初めてのことです。これを良い転換期と捉え、現在の東日本区が抱える諸課題に取り組む機会にしたいと思っています。

ここ数年、東日本区の現勢は縮小してきています。

会員数、クラブ数が減少すれば活動量も総体的に減少しますが、逆に内容の充実した活動をする機会でもあります。そのことによってワイズメンズクラブの存在意義を自覚する機会にもなると思います。

それがやがてはヒストリアンという役割の充実にも繋がるのではないかと考えています。



トラベルコーディネーター 小林 隆(熱海グローリークラブ)

昨年に続きトラベルコーディネーター(TC)に就任しました。TCは、海外からのBF(Building Fellowship 友情を築く)代表の受け入れから出国までを適切に対応することが役割です。昨年はインドからのBF代表を受け入れました。受け入れに際しては、部やホストクラブの皆さま宜しくお願いします。

(小林携帯 090-6769-2224)

東日本区事務所長 小林 隆(熱海グローリークラブ)

YMCA同盟の四谷事務所は、月・金の10:30から17:00まで開いています。

ご質問などは気軽に電話等でお尋ねください。

事務所への訪問も大歓迎です。

部大会資料や会報などの冊子印刷も受け付けています。

ネット印刷より若干リーズナブル価格で引き受けますのでご相談ください。

(小林携帯 090-6769-2224)



監事 方針

財政監事 小倉 恵一(甲府クラブ)

引き続き山下真理事年度の財政監事を務めさせていただく小倉です。

懸案の東日本区の財政危機も、前役員を始め皆様の身を削るご努力によって 2024・25 年度決算ではサポートファンド収入を除いて単年度収支均衡の見込みですが、これは必要な支出も削りに削った結果であり、決して改善されたという状況ではありません。やはり会員を増やすこと（収入増）が肝要だと思います。

今期も「財政において公正な処理・処置が行われているかを確認する。」というミッションを精一杯務めさせていただく所存ですので、皆様の更なるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



行政監事 宮内 友弥(東京武蔵野多摩クラブ)

4 月某日、全く想定外であった監事就任の打診があり、図らずも山下理事年度の行政担当監事を拝命しました。

区定款では「監事は代議員会、役員会、常任役員会に出席することができ、必要な勧告、報告、意見、助言を行う。」と規定されてお山下理事を始めとするキャビネットの皆さまのご意見を拝聴しつつ、ルールにのっとったスムーズな運営がなされるように行政監事の立場で前向きな助言ができればと思っています。

ワイズを取り巻く環境も目まぐるしく変化しており、区の定款の趣旨に沿って正しく活動されているかをチェックすると合わせ、運用面では柔軟に大らかに活動できるようになれば良いと考えていますので、区の健全な発展のために微力ながら尽力したいと思います。ご支援方よろしくお願いいたします。



会計 中村 義春(十勝クラブ)

2025～2027(山下真年度)に東日本区会計として皆様にお世話になります。十勝クラブの中村義春です。

何も何もわからない中で、元 鈴木伊知郎副会計共に教えて頂き、事務所長小林隆さまと共に、学んでいきたいと思っています。

今年度は、財政的に厳しく会員の皆様には大変ご迷惑をお掛けする事になります。

一般社団法人として、わたくしたちも何らかの収入の確保を検討しています。どうぞ暖かい目でご協力をお願いします。



副書記 金子 正樹(伊東クラブ)

今期、理事スタッフ(副書記)として活動します、伊東クラブ金子正樹でございます。私は2015年11月22日に伊東ワイズメンズクラブに入会し、今年は、入会して10年となるこの節目の年に、理事スタッフ(副書記)を拝命する事となり、また、伊東ワイズメンズクラブ第50代会長も務めます。

入会した時には、自分にこのような役が回ってくる事なんて考えたことも無く、楽しく参加できればいいと思っていただけでしたが、今回、山下理事からお誘いをいただき、経験不足・力不足ではございますが、やるからには一生懸命に努め、山下理事・榎本書記の補佐をし、「イケイケ・ノリノリ」で楽しんじゃいます♪多くのワイズメンのご協力が必要となります。

どうぞ一年間宜しくお願い致します



日本 YMCA 同盟 東日本区担当主事

田附 和久

YMCA とワイズの協働推進のために

「公正で持続可能であり、公平でインクルーシブな世界を築き、すべての人が身体、心、精神の面で成長できるように、世界中の若者とコミュニティをエンパワーメントすること」。これは「VISION2030」が謳う、世界 YMCA が共通に掲げる私たち YMCA のミッションです。格差が拡大し、分断が深化し、戦火が止まない今日の世界において、このミッションを常に忘れることなく、私たちはそれぞれの活動を行っていかねばなりません。ワイズの皆様の組織力、またワイズメンお一人おひとりの賜物を、YMCA との協働、特にユース・エンパワーメントのために大いに用いていただけるよう、担当主事として情報発信ならびにワイズの皆様との緊密なコミュニケーションに努めてまいります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



2025-2026年度 東日本区行事予定 (250522)										
年	月	区強調月間	東日本区行事・報告・送金			各部・西日本区等			国際・YMCA	
2025	7	キックオフ	10	木	各クラブ前期半年報提出 (クラブ会長⇒東日本区)					
		PR	12	土	第1回東日本区役員会					
			31	木	前期区費請求書発送	26	あずさのつどい	30-8/3	エリアユースコンボケーション(熊本)	
	8	戦略2032						1-3	アジア太平洋地域大会(熊本)	
			15	金	前期区費納期			10	国際半年報	
			23	土	臨時代議員会(WEB)					
	9	EMC	5-7	金-日	ユースボランティア・リーダーズフォーラム(富士山Y)				国際会長候補者推薦	
	10	ASF				4	北東部フォーラム		国際議員候補者締切	
						11	富士山部 部大会			
						25	北海道部 部大会			
	11	BF	8	土	第2回東日本区役員会					
		iGo・STEP	10	月	ワイズデー	22	かながわ部 部大会			
			29	土	部長・事業主任研修(現・次期)					
2026	1	キリスト教理解	8	月	祈りの輪				国際役員投票	
		IBC								
	2	EF	10	土	各クラブ後期半年報提出 (クラブ会長⇒東日本区)	未定	関東東部部大会			
		JEF	31	土	後期区費請求書発送			15	国際役員投票締切	
			31	土	次期部役員・クラブ会長報告					
	3	TOF	15	日	後期区費納期			10	国際半年報	
		FF	15	日	各種献金納期(クラブ⇒区)				国際協会年央会議	
		HTW								
	4	CS・Green P.	14-15	土日	次期クラブ会長・部役員研修会					
		ワイズメネット	～15	日	代議員会告示					
	5	Week4Waste	5	日	代議員会議案締切					
		RBM	11-12	土日	第3回東日本区役員会 (現・次期合同、中間決算)		東西理事連絡会 (東日本区担当)			
						18	あずさのつどい			
	6	LT	～10	日	代議員会議案送付	未定	東新部チャリティコンサート			
		ユース	15	金	JEFエントリー締切					
			23	土	第4回東日本区役員会(Zoom)					
	7	YMCAサポート	6	土	代議員会(石巻)					
		評価	6	土	第28回東日本区大会(石巻)					
						13	西日本区大会(奈良)		第14回日本YMCA同盟協議会	

2025-2026年度 東日本区会計予算

(単位:円)

項 目		2023-2024年度	2024-2025年度	2025-2026年度	算 出 根 拠
		決算額	予算額	予算額	
収入の部					
	東日本区費	10,354,000	9,824,000	9,479,000	前期662名(主事41名含む)後期662名+主事41名
	ハンドブック&ロースター	366,040	300,000	300,000	
	入会金	150,000	120,000	600,000	6000円×100名
	物品売上	0	0	0	ワイズ読本等
	国際加盟金	0	34,000	33,300	100CHF×2クラブ×166.5円
	YMIワールド補助金	133,090	0	0	662名×1CHF×166.5円(2024-2025は支給がない)
	受取利息	5	10	20	
	東日本区支援特別献金		1,200,000	0	サポート献金(1口10,000円)
	雑収入	68,606	0	0	
収入の部小計(ア)		11,071,741	11,478,010	10,412,320	
前期繰越金		3,138,375	2,000,000	3,465,986	前期繰越金は2024-2025期決算の見込額
合 計		14,210,116	13,478,010	13,878,306	

支出の部				
国際会費	4,291,273	4,075,750	3,857,805	前期662名×17.5CHF×166.5円+後期662名×17.5CHF×166.5円
アジア太平洋地域会費	652,157	616,500	591,828	前期662名×3\$×149円+後期662名×3\$×149円
アジア地域自然災害緊急支援基金	214,489	205,500	197,276	前期662名×1\$×149円+後期662名×1\$×149円
国際加盟金	0	201,900	33,300	100CHF×2クラブ×166.5円
租税公課	70,000	70,000	70,000	都税均等割額年額
東日本区大会支援金	363,000	350,000	0	0円×662名
東日本区事務所費(業務委託費)	1,224,000	1,200,000	1,200,000	
(家賃)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	100,000円×12ヶ月
会議費	0	0	0	飲物代・会議室代
旅費・交通費	823,700	400,000	400,000	会議研修旅費等(120km以上支給額は実旅費の40%に変更)
区・事業費	565,477	400,000	200,000	メネット活動費
部・事業費	917,800	551,000	0	廃止
事務通信費	267,144	400,000	270,000	プロバイダー料、電話料、送料
宣伝印刷費	145,200	100,000	100,000	広報パンフレット作成費他、YMIワールド編集費
コピー機カウンターチャージ	263,068	240,000	140,000	リース料含む
ハンドブック&ロースター	368,040	300,000	300,000	1,500円×200冊
消耗品・事務用品費	40,439	30,000	30,000	プリンターインク、コピー用紙、ファイル等
EMC物品費	211,200	300,000	620,000	新入会員キット(1名当たり4,000円)100名、2クラブ分ギヤヘル他(1クラブ110,000円)
慶弔費	74,408	60,000	60,000	弔電、祝電
銀行手数料	76,255	60,000	60,000	振込料、海外送金手数料、残高証明手数料
雑費	0	25,000	25,000	
予備費	0	388,360	0	為替変動準備金他
広報費	0	50,000	50,000	東日本区ウェブサイト更新 スポット契約 50,000円/回
活動費補助 理事/次期理事/直前理事	30,000	40,000	0	理事2万、次期理事1万、直前理事1万
書記/会計	40,000	20,000	0	1万×2
事業主任	80,000	40,000	0	1万×4
部長	140,000	70,000	0	1万×7
委員長/専任委員	70,000	40,000	0	5,000×8
監事	20,000	10,000	0	5,000×2
理事スタッフ	20,000	10,000	0	5,000×2
支出の部小計(イ)	12,167,650	11,454,010	9,405,209	
次期繰越金	2,042,466	2,024,000	4,473,097	
合 計	14,210,116	13,478,010	13,878,306	

当期余剰金(ア)-(イ)	▲ 1,095,909	24,000	1,007,111	
--------------	-------------	--------	-----------	--

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2025-2026 年度《前期》現勢

2025.7.1現在

7/25

部 名 クラブ名	2023 7.1	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	

北海道部

札幌	13	14	14	12	0	0	12	0
北見	10	10	10	10	1	0	11	1
十勝	17	19	17	17	0	1	16	△ 1
札幌北(札幌と合併) (2023年7月合併)	0	0	0	0			0	0
3	40	43	41	39	1	1	39	0

北東部

仙台	12	11	11	11	0	1	10	△ 1
前橋	6	6	6	6	0	0	6	0
宇都宮	27	27	28	28	2	2	28	0
仙台青葉城	15	16	17	17	0	0	17	0
足利(2024.12解散)	3	3	3	0			0	0
宇都宮東	6	6	6	6	0	1	5	△ 1
那須	7	8	7	7	1	1	7	0
もりおか	16	16	16	16	1	0	17	1
仙台広瀬川	12	12	10	11	0	2	9	△ 2
石巻広域	19	18	15	17	1	0	18	1
9	123	123	119	119	5	7	117	△ 2

関東東部

東京江東	21	21	22	22	2	0	24	2
千葉	10	10	9	8	0	0	8	0
東京グリーン	15	15	16	16	0	0	16	0
埼玉	7	6	6	6	1	0	7	1
東京北(2023.6解散)	0	0	0	0			0	0
所沢	15	15	14	13	1	1	13	0
東京ひがし	13	13	13	14	0	0	14	0
川越	9	9	10	10	0	0	10	0
茨城(2024.6解散)	8	8	0	0			0	0
東京ベイサイド(2024.6解散)	12	9	0	0			0	0
千葉ウエスト	7	7	7	7	1	0	8	1
8	117	113	97	96	5	1	100	4

東新部

東京	24	23	21	21	2	2	21	0
東京むかで	9	9	8	8	0	1	7	△ 1
東京世田谷(2024.6解散)	13	12	0	0			0	0
東京町田コスモス	8	9	9	9	0	1	8	△ 1
東京センテニアル (2024年12月解散)	3	3	5	0			0	0
東京多摩スマイル	17	17	17	15	0	0	15	0
東京町田スマイリング (2023年7月合併)	0	0	0	0			0	0
4	74	73	60	53	2	4	51	△ 2

部 名 クラブ名	2023 7.1	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	

あずさ部

甲府	22	22	18	18	0	1	17	△ 1
東京西	11	11	12	12	1	2	11	△ 1
東京武蔵野多摩	8	7	6	6	0	1	5	△ 1
*松本	11	11	9	9	0	1	8	△ 1
東京サンライズ	15	16	15	15	1	2	14	△ 1
甲府21	41	42	41	45	1	1	45	0
東京八王子	12	12	12	12	1	2	11	△ 1
東京たんぽぽ	7	6	6	6	1	1	6	0
*富士五湖	12	12	12	12	0	0	12	0
*長野	7	7	6	7	0	1	6	△ 1
甲府やまなみ	12	12	11	11	1	1	11	0
11	158	158	148	153	6	13	146	△ 7

かながわ部

横浜	12	12	14	11	2	1	12	1
鎌倉	10	10	11	9	0	0	9	0
横浜とつか(2024.6解散)	11	11	0	0			0	0
厚木	13	13	10	9	3	3	9	0
金沢八景	12	10	10	10	0	1	9	△ 1
横浜つづき	15	15	16	16	0	0	16	0
横浜つるみ	12	12	12	13	1	2	12	△ 1
大和クリエイティブ Yサービス(2024.11)				8	2	1	9	1
7	85	83	73	76	8	8	76	0

富士山部

*熱海	38	38	37	39	1	2	38	△ 1
*沼津	12	12	11	11	0	1	10	△ 1
*伊東	12	12	13	14	0	0	14	0
*三島	7	7	7	7	0	0	7	0
*下田	6	6	5	3	1	1	3	0
*熱海グローリー	14	13	12	13	4	5	12	△ 1
御殿場	12	14	14	15	1	1	15	0
富士	12	11	10	9	0	1	8	△ 1
富士宮	16	16	16	16	0	1	15	△ 1
9	129	129	125	127	7	12	122	△ 5

東日本区合計	2023 7.1	2024 1.1	2024 7.1	2025 1.1	2025.7.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
総クラブ数	59	56	52	51			51	0
総会員数	726	722	663	663	34	46	651	△ 12

* 印のクラブは、担当主事がいらないか、または在籍していても
複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

☆ 2024.11.24チャーターナイト・・・大和クリエイティブYサービス

★ 2024.6解散・・・茨城、東京ベイサイド、東京世田谷、横浜とつか

★ 2024.12解散・・・足利、東京センテニアル

2026年
6月6日 **土**

宮城県石巻市

石巻市河北総合センター
(ビッグバン)

石巻グランドホテルほか



ワイズメンズクラブ
国際協会

瓦礫、命、感謝。

第29回 東日本区大会

次の未来へ!



ホスト：石巻広域クラブ / 仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・もりおかクラブ / 東日本区